

昭和41年、全国的にテレビが普及する中、テレビが映らない地域に共同アンテナを設置し、受信網を整備する企業として設立。トンネル内の携帯電話の基地局や舞鶴市内の防災行政無線の整備にも携わり、情報化社会の利便性と安全を支えている。



下福井にある本社事務所



ドローンを操作

# 快適な通信をサポート

## 株式会社西谷通信工業

市内の若者や求職中の人に向けて、舞鶴の「働く場」を紹介するウオッチグッドカンパニー。今回は下福井にある「株式会社西谷通信工業」社長の西谷さんと、受信技術課の青山さん、逸見さんにお話を伺いました。

**西谷さん** 設立当初は、市内でテレビの電波が届かない池内や小橋、三浜などのいわゆる難視聴区域に共同受信アンテナを設置し、電波受信網を整備していました。現在は主にアンテナの保守や修理をしています。これまで培った技術を生かし、舞鶴市の防災行政無線の整備をはじめ、トンネル内でも携帯電話が使えるように、副基地局の整備や近畿一円のコンビニの防犯カメラの設置・保守、都市部の地下街での無線LANの整備など、各地で幅広く業務を行っています。テレビが映らないといっても、原因はさまざまです。受信アンテナは山中に設置することが多いため、どのような状況かはつきりとは分かりません。機械の不具合があったり、動物にかじられて配線が切断されていたり、雪や倒木で電波がささぎられていたり、何度も現場と事務所を往復し、原因を突き止め修理しています。最近では、ドローンを導入し、空撮することで原因を見つけ、あらかじめ必要な機材を選んで現場へ行くなど、作業の効率化を考えています。ライトやス

ピーカーも付いているので、害獣対策や夜間作業にも利用できないか検討中です。

**青山さん** 福知山市出身で、舞鶴へ移住し、仕事を探していたところ、この会社を見つけた。担当する仕事はアンテナ設備の保守点検や修理、工事の段取りなどです。もともと大学では法律を学び、前職も全く異なる業界で働いていたので、専門知識がなく、分からないことばかりでした。しかし、上司や先輩に教えていただき、少しずつ仕事を任せられてくるようになりました。修理の際に自分で原因を探り、解決した時は、とてもうれしく、やりがいを感じます。

**逸見さん** 高校卒業後すぐ、入社しました。電気通信の仕事に興味があったのですが、地元の小浜市にはその種の求人が出ていない中、この会社を見つけました。入社して現在で6か月、仕事内容は思った以上に多種多様です。分からないことばかりで「何が分からないのか分からない」ということもありましたが、上司や先輩に、いつも丁寧に教えてもらえます。できなかったことができるようになって達成感があります。山奥の現場まで行くことや高所で作業することもあり、体力も必要な仕事ですが、毎日異なる作業をするので、新鮮な気持ちで仕事に取り組みます。

# ウオッチグッドカンパニー Watch Good Company!



電柱へ登ってケーブルの点検作業



山の中で点検作業



左から西谷さん、青山さん、逸見さん、事務の和子さん

ホットな健康情報をお届け!

## マイ健康通信

健康づくり課 ☎65・0065



「3,000人」。これは日本で輸血を受けている人の1日あたりの平均人数といわれています。多量の輸血を必要とする人もいるため、1日あたり必要な献血協力者は13,000人にもなります。とはいえ、献血後の血液がどんな人にとどのように使われているのかは意外と知られていません。そこで今回は、献血の必要性や大切さを紹介します。

### 血液のゆえ

輸血というと、映画やドラマで外傷を負った人などが救急搬送されて輸血されるような様子をイメージするかもしれませんが、実は、このようなタイプの輸血は全体の3割程度。献血した血液の使われ方の第一位はがんの治療です。がんの治療で放射線治療や抗がん剤による治療を行っている人に血液製剤(人の血液から作り出される医薬品)が使われます。

これらの治療は、がん細胞をなくすためにありますが、同時に正常な細胞にも影響を及ぼしてしまいます。その一つが骨の内側部分で血液が作ら

れる「骨髓」。がん治療の影響で血液を作る能力が低下すると、体内で血液が不足し貧血症状が現れ、輸血が必要になります。白血病など、骨髓中の血液を作る機能ががん化した場合に、この骨髓(血を作る成分)を移植する骨髓移植がありますが、献血では、この骨髓移植に協力してもらえない骨髓バンクドナー登録会も同時実施しています。

### 血液が冬に不足するわけ

献血後の血液は多くの場合成分ごとに分離され、症状に合わせて輸血されます。輸血する血液製剤は生きている細胞が入っているため、長期保存ができません。赤い赤血球の製剤は採血後21日間、黄色の血小板製剤は4日間しかもちません。そのため、常に献血の協力が必要なのです。また、冬は風邪やインフルエンザなどで体調を崩し、服薬する人が多くなることから、血中に薬などの成分が含まれ献血ができないため、献血の協力者が減少してしまう傾向があります。

### 「はたちの献血キャンペーン」

現在、献血協力者は50~69歳が最も多く、次いで40代・10代・20代の献血協力者はこの10年間で約35%も減少しています。若年層の皆さんに献血に協力してもらおうと、全国的に1月1日から2月29日までを「はたちの献血キャンペーン期間」として冬の献血を呼びかけています。

### 献血協力の第一歩を

厚生労働省によると、献血をしたことがない理

由は「痛みや恐怖」が多い一方、入りづらい、忙しい、時間がかかりそうという意見もありました。実際には、一般的な全血献血(血液の全ての成分を採取する方法)の採血にかかる時間は約15分で、受付から休憩を含めても約40分程度です。

採血の前には問診があり、献血基準を満たさない献血ができない場合もあります。主として、体重や年齢、年間採血量(1年間に採血できる量)、服薬の有無などです。これは、献血者の健康を守り、患者さんへ安全な血液を届けるためです。

この冬に、あなたができる献血協力の初めの一歩を踏み出してみてください。献血ができない場合でも、献血が常時必要なことや、冬季に血液が不足することなどを若い世代へ伝えることも大切な献血への協力になります。

### 新春舞鶴市100人献血

1月16日(木) 9時30分~11時30分、12時30分~15時30分に市役所で「はたちの献血」キャンペーンの一環として「新春舞鶴市100人献血」を実施。一人でも多くの人を救うため、ぜひ献血にご協力ください。その他の献血日程もカレンダー(31頁)に掲載。



自衛隊にも協力して多くの人に献血してもらいます。

## 健康教室と相談カレンダー

	対象	日時	内容	定員	料金	申し込み
健やか育児相談	乳幼児の保護者	1月27日(月) 9時30分~11時	◆育児の悩み相談 ◆歯・食事の相談 など	なし	無料	不要
歯っぴースマイル教室 (2歳児むし歯予防教室)	2歳6か月児	H29.2.12~8.13生まれ	◆歯の話 ◆歯科健診 ◆フッ素塗布	先着各20人	300円	前日までに電話で
	2歳児	H29.8.14~H30.2.14生まれ				
離乳食教室	5~6か月児の保護者	1月24日(金) 14時~15時30分	◆離乳食の話と試食	先着15人	無料	前日までに電話で
助産師相談	妊産婦、新生児・乳児	1月8日(水) 9時~11時	◆妊娠中の相談 ◆産後や子育ての相談	なし	無料	不要